

令和7年度 百々小だより

前期学校評価特別号

令和7年10月31日

【学校教育目標】

自分も友達も大切にし 笑顔あふれる学校

～認め合い 支え合い 高め合える百々っ子～

京都市立百々小学校

校長 山下 博典



◎「よく出来ている」「大体できている」との回答結果

設問 (児…児童 保…保護者 教…教職員)	(%)
児 学校は楽しいですか。	90%
保 子どもは、楽しく学校に行っている。	95%
教 子どもは、楽しく学校生活を送っている。	100%
児 学校のきまりや約束を守っていますか。	92%
保 子どもは、学校のきまりや約束を守っている。	95%
教 子どもは、学校のきまりや約束を守っている。	79%
児 相手に届くあいさつをしていますか。	80%
保 子どもは、明るく元気なあいさつができています。	69%
教 子どもは、明るく元気なあいさつができています。	72%
児 自分や人を大切にしていますか。	92%
保 子どもは、自分や人を大切にしている気持ちや態度が育っている。	97%
教 子どもは、自分や人を大切にしている気持ちや態度が育っている。	90%
児 家でも学校でも時間を守って活動することができますか。	85%
保 子どもは、時間を守って活動している。	79%
教 子どもは、時間を守って活動している。	56%
児 先生や家族に困ったことを相談したり、学校の出来事などを話したりしていますか。	80%
保 子どもは、困っていることや学校の出来事などを家で話している。	86%
教 子どもは、困っていることを相談したり、出来事を話したりしている。	91%
児 百々の地域のことが好きですか。	91%
保 子どもは、百々の地域のよさを感じている。	84%
教 百々の地域のよさを学べる教材・単元づくりをしている。	65%
児 家や学校などで進んで読書をしていますか。	68%
保 子どもは、家で進んで読書をしている。	28%
教 子どもは、学校で進んで読書をしている。	51%
児 自分のめあて(学級目標、学習、生活)に向かって努力をしていますか。	88%
保 子どもは、いろいろな目標に向かって努力している。	76%
教 子どもは、目標をもち、その達成に向けて努力している。	85%
児 家で宿題などの家庭学習をきちんとしていますか。	93%
保 子どもは、宿題などの家庭学習をきちんとしている。	92%
教 子どもは、宿題などの家庭学習をきちんとしている。	84%
児 授業でわかったり、できるようになったりしていますか。	92%
保 子どもは、分かるまで学習に取り組んでいる。	65%
教 子どもは、分かるまで学習に取り組んでいる。	59%
児 人の話をよく聞き、自分の考えをしっかりと話していますか。	83%
保 子どもは、人の話をよく聞き、自分の考えをしっかりと話している。	72%
教 子どもは、人の話をよく聞き、自分の考えをしっかりと話している。	59%
児 学習の準備を自分できちんとし、忘れ物をしないように気をつけていますか。	87%
保 子どもは、学習の準備を自分できちんとしている。	74%
教 子どもは、忘れ物をしないように気をつけている。	75%
児 早寝・早起き・朝ごはんを心がけ、健康に気をつけていますか。	83%
保 子どもは、基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん)が身についている。	85%
教 子どもは、基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん)が身についている。	57%
児 日頃から外遊びや運動をしていますか。	79%
保 子どもは、日頃から外遊びや運動をしている。	69%
教 子どもは、日頃から外遊びや運動を積極的に行っている。	81%

今回の結果では「学校は楽しい」が児童で全体の90%を占め、前回よりも数パーセント増えています。「きまりや約束を守っている」「自分や人を大切にしている」「宿題をきちんとしている」等の項目でも90%を超える割合となっています。一方で「時間を守って生活している」「相手に届く挨拶をしている」「授業でわかったり、できるようになったりしている」については、できていないと回答している子が一定数いる結果になりました。これを受けて、特に改善が必要な以下の3点について、教職員全体で話し合いました。その考察についてお知らせいたします。この結果を参考に今後の学校教育活動にいかしていきたいと思っております。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。

＜結果の考察＞

◎子どもが時間を守って生活するために

まず、教職員が時間を守り、その姿を子どもたちに見せることが大切だという意見が多く出ました。そして低学年では、時計を読むことができない子もいるので、時計を読めるようにし、時間を意識して行動できるようにすることが大切だと思っています。同時に、教室に校時表を拡大して掲示したり、タイマーを活用したりする等の工夫を行うことも大切だと感じています。また、児童が見通しをもてるような声かけや学習活動を行うことを意識し、休み時間で遊びに行く前に次の学習の準備時間を設定する等、ゆとりをもった時間配分で進めていくことも意識していきたいと思っています。

◎子どもがすすんで挨拶をするために

まず、挨拶をする習慣を身に付け、継続していくことが大切だと思っています。子どもたちは各家庭で、学校で、そして地域で挨拶を交わし、挨拶をする習慣を身に付けると思っています。私たち周りの大人が率先して、かつ根気強く「挨拶をする姿」を見せ続ける必要があると思います。ですので、校長や教頭、計画委員だけでなく、様々な委員会の児童や、クラス単位で正門前に立って挨拶をする企画「あいさつ運動」も効果があると考えます。さらに「～さん、おはようございます。」のように、その人の名前を呼んで挨拶ができると、より相手意識をもって接することができるのではないのでしょうか。また、気持ちの良い挨拶ができています児童もたくさんいるので、そういう子どもたちを褒め、百々プロジェクト(自主的に良いことをした児童を学校長が褒める機会を設けている)でも取り扱い、子どもたちの自信につなげる取組も進めていきたいです。

◎根気強く学習に取り組む態度を育てるために

- ①「できた」「わかった」を実感できる授業計画を立てる。
- ②「やってみよう」と思える問題や課題を準備する。
- ③静かに集中できる時間と空間を確保する。
- ④がんばったことを認め、褒める。
- ⑤仲間と一緒にがんばる仕組みをつくる。(ペアやグループ活動)

これらのことを常に念頭に置いて、子どもたちに合った授業づくりや授業改善を行っていきます。

ご家庭でも、毎日同じ時間に机に向かう習慣をつけたり、保護者の方がそばにいて見守ったり、教えてくださったりしていただいていることと思います。その積み重ねが子どもたちの「できた」「わかった」や自信につながっていきます。学校としましても、子どもたち一人一人の将来を見据え、今できることをしっかりと積み重ねていきたいと考えています。